

平成30年度 学校法人東大寺学園 事業報告書

1. 法人の概要

- 設置する学校
幼稚園・中学校・高等学校
- 当該学校の入学定員・学生数の状況

	定員	平成30年5月1日生徒数
幼稚園	160名	125名
中学校	564名	528名
高等学校	705名	646名

- 役員・教職員の概要

○ 平成30年度理事会

理事長	北河原 公敬	理事	森 宏志
常任理事	上野 周真	〃	森 雅彦
理事	内田 恒	〃	森本 公穰
〃	喜多 恒雄	〃	森本 俊一
〃	筒井 英賢	〃	矢和多 忠一
〃	中村 憲兒	監事	鷲尾 隆元
〃	西口 廣宗	〃	平岡 慎紹

○ 職員

中学校・高等学校教職員

	校長	教頭	教諭	養護教諭	常勤講師	非常勤講師	図書司書	外国人英語講師	実習助手	事務局長	事務長	事務次長	事務職員	嘱託校務員	兼務職員	計	校医・薬剤師
男	1	2	50		5	7	2		1	1	1	2	1	1	76	3	
女			4	1	2	5	2					3		5	20	1	
計	1	2	54	1	7	12	4		1	1	1	5	1	6	96	4	

幼稚園教職員

園長	副園長	主任	教諭	補教	事務	茶道指導	英語指導	計	園務員	園医
1	1	2	6	4	1	2		17	3	2

2. 事業の概要

東大寺学園中・高等学校事業計画

I. 指針

1. 学園経営の効率化に努め、健全な財政運営を維持しつつ、安全で快適な学校環境の充実に努める。
2. 基本的な生活習慣・学習習慣の定着を軸として、心身ともに健全な生徒の育成に努める。

II. 重点目標と事業計画

1. 個としてのアイデンティティの確立・基本的生活習慣の定着
生徒が主体的に取り組む諸活動を企画・実践し、その取り組みを通じて、生徒が自立心や創造力を育むこと、協働への意識を高めることを目指す。また、遅刻の防止、登下校の通学マナーやゴミの分別等、日常生活に関する生徒指導を徹底することで、生徒の規範意識の向上にも努める。
2. 基礎学力の習得と体力持久力の向上
高等教育を受ける素地として、生徒全員が基礎学力を十分に習得するよう指導する。特に低学年において、学習意欲を高めるよう配慮する。あわせて、学習活動が知識の集積にとどまるのではなく、知識を機能的に活用する力に繋がるよう留意する。また、授業・行事・部活動をはじめ体育的諸活動を充実させ、体力・持久力の向上を図る。
3. 情操教育及び共生教育の充実
中学における「東大寺学」の学習を通じて、生徒が東大寺に親しみ、東大寺創建の精神に触れ、より情操豊かになることを目指す。あわせて中高6年間の人権教育計画に基づき、共に生きるという社会観・人権尊重の精神を育む。
4. 生徒の自主・自発の活動の育成
教科外の諸活動・部活動の一層の充実を図るとともに、生徒一人一人の自主的・自発的な活動を奨励・支援する。
5. 社会的関心の喚起・視野の拡大
幅広い視点から講演、芸術鑑賞等を企画、実施する。また、海外短期留学制度等を通じて、グローバルな関心・視野も生徒に意識させたい。
6. キャリア教育の充実と高3生の進路保障
生徒の進路決定に資するため、校外における高大連携事業への参加、さまざまなジャンルで活躍する卒業生を招いての講演会の開催等を積極的に進める。また、高校卒業生が所期の目標を達成できるよう、必要にして十分な指導計画を立て、学力の伸長に努める。
7. PTA活動のさらなる充実
保護者との信頼関係を維持・強化するとともに、保護者自身の自己啓発に資する方向で、研修を含めた活動計画を企画・実施する。
8. 生徒募集の拡充
学園の教育内容の充実が基本であるが、あわせて、学園の公開見学会、学園行事、校外での相談会・講演会を通じて学園の方針・校風の広報を一層充実する。
9. 教職員研修の充実
本校の教育課題に沿う校内研修会を企画し、研修機会のいっそうの充実を図るとともに、校外での研修会や研究会への参加も奨励する。また、引き続き、公立校等との人事交流等にも取り組みたい。
10. 学校評価の継続実施
教育活動を不断に見直し、その成果や課題を明らかにし、教育活動の一層の充実に資するため、学校評価の充実を図る。

III 今年度の主な工事

中学・管理棟・圓融館照明LED化、情報教育機器更新

平成30年度 年間行事(中学校・高等学校)

4月	<p>上旬 高1編入生補習授業 始業式・入学式(中学・高校) 新入生オリエンテーション</p> <p>中旬 心電図 身体計測・体力測定 スポーツテスト 学年保護者会</p> <p>下旬 内科・歯科一斉検診 高2芸術鑑賞</p>	10月	<p>上旬 生徒会役員選挙(後期) 中旬 中学体育大会</p> <p>中旬 中学入試説明会 高校入試説明会</p> <p>下旬 中間試験 *第2回 雑華の会(薬師寺)</p>
5月	<p>上旬 教科外活動 聖武祭(2日) 創立記念日(4日) 生徒会役員選挙(前期)</p> <p>中旬 *菁々会総会 奈良市民体育大会 検尿</p> <p>下旬 中間試験</p>	11月	<p>上旬 進路講演会(高1) *菁々会秋の遠足(伊賀上野) *東菁会総会(京都) 教科外活動 中3芸術鑑賞 高校入試説明会</p> <p>中旬 球技大会 学年保護者会</p>
6月	<p>上旬 X線間接(高1) 中2・高1芸術鑑賞 *第1回 雑華の会(東大寺)</p> <p>中旬 奈良市中学総合体育大会</p> <p>下旬 高2期末試験 *父親を中心とする会(東大寺)</p>	12月	<p>上旬 中2研修旅行(沖縄) 期末試験 中学願書受付</p> <p>中旬 個人懇談会 終業式</p> <p>下旬 補習授業</p>
		1月	<p>上旬 補習授業 始業式 実力試験</p> <p>中旬 高校願書受付 高3特別授業 中学入学試験</p> <p>下旬 高3学年保護者会 中学百人一首大会 中学入学予定者説明会(第1回) 中学内科検診 *菁々会修二会講演会</p>
7月	<p>上旬 期末試験 高2修学旅行(北海道)</p> <p>中旬 *東大寺写経の会 個人懇談 終業式</p> <p>下旬 補習授業 高1夏山登山(槍ヶ岳)</p>		
8月	<p>上旬 中1臨海学習(若狭・久々子海岸) 学校見学会(中学生対象) 近畿中学校総合体育大会 海外短期研修(オックスフォード)</p> <p>下旬 補習授業 学校見学会(小学生対象)</p>	2月	<p>上旬 高校入学試験</p> <p>中旬 高校卒業式 高校入学予定者説明会(第1回) 中学長距離走大会</p>
9月	<p>上旬 始業式 実力テスト 菁々祭(文化祭)</p> <p>中旬 避難訓練</p> <p>下旬 奈良県高等学校総合体育大会</p>	3月	<p>上旬 学年末試験</p> <p>中旬 個人懇談会 終業式 中学卒業式</p> <p>下旬 中学・高校入学予定者説明会(第2回) 中3スキー研修(志賀高原) 補習授業</p>

*印はPTA行事

平成 30 年度 東大寺学園幼稚園事業報告

■ 教育方針

本園は東大寺境内、大仏殿西に位置し、1250年の歴史を刻んだ場所にある。歴史的建造物や豊かな緑に囲まれた素晴らしい環境を活かし、四季おりおりの伝統行事にふれながら、幼児期にふさわしい体力、知力、情操を養う。東大寺創建の精神にもとづき、ひとりひとりの人格を尊重し、みんなと力をあわせて努力する喜びを知り、遊びを通じて創造性と人間性豊かな心身を育成する。

■ 重点目標と事業計画

1. 基本的な生活習慣の確立

毎日の“挨拶”を自分から進んでできるように指導する。また、自分の身の回りのことを自分でできるようにするとともに、当番活動など周りの人に対して力を発揮する場面をつくり、人のために動く心地よさを味わえるようにする。

2. 保育内容の充実

昨年度までに精査した教育計画を実行し、保育の充実を図る。広い園庭やホール、周辺の自然など豊かな環境を生かして遊びを充実させ、体全体を十分に動かす遊びを通して体力づくりに重点を置いた保育を継続する。また、自分に自信をもち責任ある行動がとれるような生活を保育の中に取り入れるとともに、自分の思いを周りの人に伝えることのできる機会を大切に、自分の意見を自分の言葉で発信すると同時に、人の話を関心をもって聞ける子どもを育てる。

3. 東大寺学園幼稚園ならではの特色ある保育

当園ならではの特色を生かした保育を大切にする。田植えや稲刈りを通じ、学園中学生との交流を行う。また、療育病院の子どもたちと触れ合う機会を持ち、いろいろな人とかかわる経験をさせる。

毎月の大仏殿参拝をはじめ、聖武祭等の行事への参加、大仏殿周辺を走るマラソンコース、自然観察会、奈良公園の散歩など周辺の環境を生かした保育を継続する。

外部講師による茶道、英語を保育に位置づけ、多様な先生と信頼関係をもち豊かな経験ができるようにする。指導の内容について担任教師と意見を交わす時間を取り、毎日の保育との連携を図る。

4. 地域に認められる園運営

2歳児保育については、保育内容を検証しながら継続する。乳幼児を持つ保護者の子育て不安を軽減するとともに、園にとっても園児確保に繋がるものとして力を入れたい。

幼児の減少傾向が続いているので、発信できる機会を逃さず、未就園児親子への働きかけを行うようにする。より多くの幼児に応募してもらうためには、日々の保育の充実と保護者からの信頼が重要であると考えている。長期休業中の預かり保育を充実させることと合わせ、在園児の保護者に対して幼稚園の教育を理解してもらい園児の成長を共有することで満足感を持ってもらえるようにしたい。

教育実習生や中学生の体験を受け入れたり、地域と連携した活動に積極的に参加したりして、園児に多様な経験をさせるだけでなく、地域に幼稚園の存在を周知してもらえよう広報に力を入れる。

5. 施設設備

夏季休業中の預かり保育に支障のない盆休み時期を利用して、環境を考慮した空調設備を設置した。高額な経費がかかり負担は大きかったが、必要に迫られ実施したおかげで、猛暑の9月、冬期とも、故障に苦労することなく快適に過ごすことができた。

また、正門に傾きが生じてきたため、安全を考慮して改修を行った。

平成 30 年度実行事

4月	始業式 入園式 育友会役員選出とミニ参観 千僧法要への参加(年長児)	個人懇談 (在園児)
5月	聖武祭稚児行列・天皇殿参拝は雨のため中止 お花まつり参観 育友会総会	家庭訪問 (新入園児) 春の親子遠足 (若草山・奈良公園) 2歳児保育開始 火災避難訓練 ムジークフェスト奈良 2018
6月	日曜参観 学級懇談会	プール遊び 眼科・内科・歯科検診 田植え(中学生交流) 療育病院交流会 地震避難訓練 教育実習受入
7月	七夕参観 お泊まり保育	水生生物観察会 夏休みプール 地蔵祭り 新入園児説明会 終業式 夏休み 夏季休業中預かり保育

8月	夏休み	登園日	保護者奉仕日	園庭開放日
9月	始業式	敬老参観	火災避難訓練	入園選考
10月	秋の親子遠足(みかん狩り)		運動会(未就園児参加競技あり)	
	大仏秋の祭り(年長児の稚児行列)		交通安全教室	体力測定
11月	こども祭り(未就園児招待)	入園予定者一日入園	作品展	自由参観
	稲刈り(中学生交流)	療育病院交流会	秋の自然観察会	
	2歳児説明会	2歳児願書受付	中学生体験受入	
12月	お餅つき	成道会参観	奈良マラソン応援	クリスマス会
	個人懇談	冬休み		
1月	耐寒マラソン	マラソン納会参観	新入園児説明会	火災避難訓練
	岡田由美子先生のコンサート			
2月	豆まき	生活発表会		
3月	ひな祭り	お楽しみ会(人形凧鑑賞)		二月堂参拝(だったん帽)
	運動参観(年長児)	お茶参観(年長児)	卒園式	終業式

- ※ 毎月身体測定(身長・体重測定)実施
- ※ 毎月1回大仏殿参拝
- ※ 週1回 英語の時間、月1回 お茶の指導(年少児は10月以降)
- ※ 毎月未就園児教室開催(9月入園選考、10月運動会、11月一日入園を兼ねる)
- ※ 毎週水曜日午後1:30~15:30、地域の幼児向け園庭開放

○東大寺・学園との交流

- ・中学生との田植え・稲刈りの交流 6/8、11/5
- ・東大寺福祉療育病院との交流会 6/19、2回目は体調の悪い子がおり中止
- ・保護者向け「東大寺にかかわる情報」 日曜参観6/3、お松明見学 3/6

○預かり保育について

- ・年間通常152日、延べ1751人、(含:長期休業中26日、延べ286名)(前年度151日、延べ1743人)の園児の預かり保育を実施した。夏休み、冬休みの長期休業中の預かり保育の日数を増やした。仕事を持つ母親も増え、充実した生活を送ることができると好評だった。
- ・預かり保育の実施により、奈良県と奈良市から補助金を得ることができた。

○2歳児保育の実施

- ・昨年度に続き、月木、火金の週2回で2グループ各10名の2歳児保育を実施した。(年度途中で転居のために1名退園)内17名が翌年、3歳保育児として当園に入園した。

○園児の確保

- ・近隣の乳幼児が少なくなっている。未就園児教室8回は毎回工夫を重ねて実施した。運動会や子ども祭りへの招待、新入園児見学説明会を行ったが、そのほかに保護者の希望を考慮し、いつでも見学・説明を受け入れた。
- ・見やすい幼稚園案内、2歳児保育の案内を作成し、機会を逃さずに広報できる場を活用するとともに早い時期から広報を始めるように努めた。(私立・国立 幼稚園展に出展等)

○地域との連携・広報活動

- ・千僧法要30周年記念式典に年長児が参加(4/26)
- ・「奈良県童話連盟お話の会」の協力を得て毎月1回、各クラスで実施(全園児対象)
- ・NPO地球環境・共生ネットワークの活動「EMだんご作り」に参加 5/31、6/14
- ・社団法人淡水生物研究所理事、谷幸三氏による「自然観察会」の実施 7/10、11/21
- ・岡田由美子氏との共演で「ミュージックフェスト奈良2018」への参加 5/26
- ・「奈良マラソン2018」の応援鼓隊演奏 12/9
- ・幼稚園ホームページの点検・見直し
- ・新聞掲載・放送…奈良新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、奈良テレビ、NHK、

今年度の主な工事

空調設備更新

当該計画の進捗状況等

各項目とも順調に進めることができた。

3. 財務の概要

財務諸表(経年比)を別紙添付